

小平市は給食や保育に 責任をもってください

小平市は小学校給食の民間委託と公立保育園の廃園・民営化をすすめようとしています。子どもたちに安全・安心な給食や保育はこれで守れるのでしょうか。ご一緒に考えてみませんか。

小平市の学校給食が始まって51年。この間、1989年に市が提案した民間委託は、市民のみなさんの大きな声で撤回されました。そのおかげで栄養士と調理員が一体となった自校直営方式の積み重ねができ、いまのおいしくて安全な給食を子どもたちに提供し続けています。

小平市で保育園に入れない待機児は133人（2011年4月現在）。小平には公立保育園10園、私立保育園8園の認可園がありますが、1983年から認可園はつくられていません。

待機児童の解消のためには
「認可保育園増設」です
市民の願いは「民営化反対」（パブリックコメントで9割）

給食は食育の生きた教材
給食は自治体の責任です
私たちは地産・地消を心がけています



子どもたちの未来
考えてみませんか



学校給食を守る小平連絡会・小平市保育問題協議会・小平市職員組合

連絡先 小平市職員組合 TEL 042-343-6117 E-mail kodaira-kyuushoku@ac.auone-net.jp

子どもにやさしいまち小平

1 安全性

責任は市が持ちます

給食室の清掃や調理員自身の健康、衛生管理などすべての責任は、市が持ちます。



！ 民間委託では、市は調理員の衛生責任は持ってません。洗剤は大丈夫？殺菌剤の使い過ぎも心配…

2 おいしさ

だしは鶏ガラ、豚骨、鰹節

温かいものは温かく。栄養士と調理員が確認しあいながら作るの、味も栄養もバッチリです。



！ 民間委託では、栄養士は調理員に直接指導できません。指示書もためて、違法行為になります。

自校直営方式（いまの給食）で すこやか食育4つの優

3 安心

豊かな知識と経験

豊かな専門知識と経験を持った市の調理員だから、安定した給食をつくれます。



！ 待遇が悪く、入れ替えが激しい民間の社員では、専門知識や豊かな経験は積みません。

4 教育・情操

食育で食への関心わく

子どもがつくった野菜を給食に取り入れたり、季節の行事食で子どもも食への関心がわきます。



！ 子どもたちと調理員のふれあいもなく、食材の産地も伝えられない給食では、食育はできません。



▲大きなお釜でごはんを炊いています

計画停電でも給食提供

東日本大震災の後の計画停電にも小平の小学校給食は通常に近い状態で毎日、給食を提供できました。自校直営方式だからこそです。



市民の税金でつくられた公立保育園は地域の宝

保育園を増やして待機児童の解消を

「上の子は入れたのに、下の子が入れなかった」「働きたいのに保育園に入れず、仕事を探せない」など、保育園に入れなかった声がたくさん寄せられています。公立保育園では、毎年、約60人の子どものを本来の定員以上に受け入れていますが、設備が整わず困っています。公立保育園を廃園にするのではなく、基準を満たした認可保育園の増園が必要ではないでしょうか。

民営化を撤回、凍結、延期の自治体が増えています

民営化で市の直接責任がなくなることや、保育士や保育内容が変わり、子どもが不安になるという心配から各地で反対や実施の延期を求める声があがっています。日野市では市の説明を求めて延期されています。国立市では保護者や市民と市長との話し合いで計画が中止されました。東村山市でも、市民の反対運動で民営化が延期されています。23区では世田谷区で5カ所の区立保育園が民営化されたものの、その後の計画をストップさせています。江東区でも区長から「保育の質の確保も大事」というコメントを引き出し、民営化の担当部署を廃止させました。



小平市の公立保育園は？

- 日当たりのいい園庭で毎日、元気いっぱい遊んでいます。野菜を育てて食べたり、泥んこ遊び、散歩など子ども同士のかわりと季節感を大切にしたり行事や遊びに取り組んでいます。
- 幅広い年代の保育士が子どもたちや家庭を受け入れ、いろいろな相談にものっています。
- 地場野菜を取り入れ、無添加で季節や伝統を取り入れた給食はとてもおいしいと評判です。アレルギーなどにも対応したきめ細かい配慮をしています。
- 子どもひとりひとりを大切に、地域の方とのふれあいをもちながら、安心できる保育園をめざし、公立10園で保育内容を交流したり、研修を受けるなど、常に保育の向上をめざしています。

市民の願いを
聞いてください

私は公立保育園の存続を求めます。公立がいい！という親・子どもの声を大切にしてもらいたいです。「社会で子どもを育てる、はぐくむ」という概念であってほしいです。
財政難かも知れませんが、どうか医療・福祉・教育には重んじてほしい気持ちがあります。

女性が働きやすい環境にするために、公立保育園を残しながらより良いサービスをできるように考えて欲しい。子どもたちのために廃園するなどという寂しい策定はやめてほしい。